

## 細江カトリック教会だより

## 夏号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

7月2日から天使幼稚園の子供たちは七夕祭りを迎えるために笹竹に短冊をつるして願い事と様々な飾りを楽しく作りました。Aさん(年長)、Bさん(年中)とCさん(年少)の子供たちはそれぞれの笹竹を飾りました。この笹竹は教会の玄関先とホールの入り口に立てられました。一週間ほどそれを見て子供たちの夢ややりたいこと、また願いたいことなどを本当に楽しみにしました。「おともだちと/おにいちやんとなかよくしたいです」、「じてんしゃにじょうずにのれますように、おしごとががんばりますように、サッカーがじょうずになりますように」、「しょうぼうしさんになりたいです、けーきやさん/おにくやさんになりたいです、キュアシルキー/プリキュアになりたいです」という色々な子供たちの夢と望みがありました。

さて、私たちは、生まれつき全ての人が「願い事をかなえる力」を持っています。しかし願い事には「かなう願い事」と「かなわない願い事」があるのです。では、私たちは何の願いを求めているのでしょうか。一人ひとりによって違うかもしれません。皆さんも教会・神社などで「願い事」をすることが多いのではないのでしょうか。今まで、願ったことはたくさんかなってきたかもしれませんが、そう言ってもかなわない願いもありました。しかし、聖書が教えてくださったように、私たちが

お願いする前に、前提とする必要な認識があります。それは、私たちが願いをする時、すべてご存じである慈しみ深い神に祈るのです。「あなたがたの父は、願う前から、あなたがたに必要なものをご存じなのだ」(マタイ6:8、32参照)。

それでは、何のために願っているのでしょうか。幸せになるようにという目的ではないのでしょうか。幸せになりたいならば、自分だけの成功、自分だけの喜びではなくて、他者と一緒に喜びを分かち合うことが大切です。自分中心ではいつまでも「幸せ」は得られません。幸せになりたいなら、まず自分を置いて、他の人の幸せを願い、皆と共に喜びも悲しみも分かち合うことです。もし、隣人の気持ちを知って、理解することが出来たら、分かち合える喜びを感じます。私たちはいつも家族や関わっている人々だけでなく世界の苦しんでいる人々、皆が幸せになるように心から望む必要があると思います。なぜなら、その方々が幸せになれば私達も幸せになるからです。

「たなばた」の祭りを通して、その伝説における愛し合う男女「牽牛」と「織女」は一年間待っていてようやくこの夜(七月七日)に相会することができて幸せになるように、私たちの願い事もいつかかなうことになるという希望が与えられるでしょう。しかし、信仰を持っている私たちは願い事がかなうかどうかを父である神に委ねます。私たちが願う前に神は私たちに必要なものをよくご存じだからです。神の存在を信じ、神の深い慈しみに信頼して、私達は人生の中で幸せになるために

必要なものを願っていきます。前述したように、恐らく一番大事な願いは他者を兄弟姉妹として受け入れたり、子供たちが願ったように他者と仲良くしたり、人々を大事にしたりすることができるよう、ということではないかと思えます。何よりもまずこういう風にしようとするならば、あらゆる多様な願い事がかなえられるでしょう。(マタイ 6:33 参照)。

ディン 神父

## 地区便り IV

現在私は作道神父様がこの6月から始められた“祈りを深める”講座に参加しております。数年来、加齢による聴力の衰えから、神父様のお話をききのがすことが多く、当初は少し不安もありましたが、今3回目の講座を終えて、本当に参加して良かったと感謝しています。毎回詳しいテキストが用意されていて、お蔭様で聖書の中の祈りに対する認識が、講話のタイトル通り、深められてきた実感を持ちました。

私は28歳の年、聖母被昇天の祝日に受洗して、今年で信仰生活60年になります。信仰生活というにはおこがましく、ただ右往左往しながら永らえて、何とか今日まで教会を離れずに来たのは、きっと主の御心が、迷える私を捉えてくださったからでしょう。

ゆるしの秘跡に与る準備のとき、記憶にある罪を思い出しながら、つくづく自分の愚かさを嘆きます。それでいて心の隅で「私は取り返しのつかない大罪は犯していない」と、神さまに言い訳する自分に気づくのです。以前、黙想の指導に来られた清水神父様の「罪の究明より神様から頂いたお恵みを探みなさい」というお話に、大変感銘を受けましたが、その感銘も日常生活に戻れば、折角黙想によって洗われた心が、たちまち俗事にまみれて、醜い感情に支配され、“元の木阿弥”にな

るのです。

年を重ねて来て、今穏やかに暮らしている自分が、どれほど多くの人に支えられて来たか、またこれまで受けた神様のお恵みが、いかに大きなものだったかに、ようやく気づきました。そのたくさんのお恵みに対する感謝の祈りを怠った「大罪」を償うために、生ある限り、感謝の祈りを捧げ続けると心に決めています。

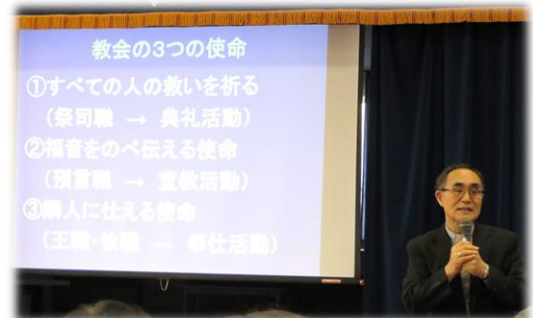


山の田地区 森 正子

## 教会へのチャレンジ

『隣人に仕える使命』 6/15 (土)

——仕えられるためではなく、  
仕えるためにきた。——



山口天使幼稚園ホールにて、白浜満司教さまの講話で、以下の3つの使命についてお話があり、その後の分かち合いは各教会の奉仕についても話し合われました。

まず、**教会の3つの使命**は

- ①すべての人の救いを祈る使命・・・イエスは祈りによって始めた。
- ②福音をのべ伝える使命・・・神さまの言葉を使って伝える。
- ③隣人に仕える使命・・・社会のために奉仕すること。私たちの中でも奉仕しあう。

—祈る、伝える、奉仕する—

それぞれ尊重し支え合う、教会の協働

体でありたい。

また、私の好きな福音の箇所、ぶどうの木と枝（ヨハネ15,4～5）を用いられ

て  
「わたしにつながっていなさい。」・・・  
「わたしもあなたがたにつながっている。わたしはあなたを見捨てない」と、イエスさまのつながりを感じて、「一緒に働いていきましょう。」

イエスさまは、いつも傍にいてくださって、私たちの行動を見守ってくださる、ということを感じかせてくださいました。このことを再確認して、これからも頑張っていきたいと思います。できるかどうかは？神さまにお任せですが、何故か安心する講話の一つでした。

イエスの3つの命令は、

- ①「わたしの記念としてこのように行いなさい。」・・・ミサ・典礼活動
- ②「全世界に行って…福音をのべ伝えなさい。」・・・宣教活動
- ③「互いに愛し合いなさい。…わたしの掟である。」仕える者になりなさい・・・奉仕活動

キリスト者の奉仕は、(イエスとともにささげる) マタイ 6・1～18、マタイ 2・11

イエスさまのみことばをいただいて、イエスさまの手をかりながら誰かのために愛の行いをする。犠牲(苦しみ)をささげる。

白浜司教さまは「これから！これからだと思えます。新しい現状を見つめながら、愛をともなって証しを」と。いつも優しい口調の司教さまですが、強く呼びかけられました。

講話はこれ以上にたくさんありましたが、説明不足でごめんなさい。この日の一言ひとことを繰り返し心に刻みながら、明日からまた新たに、主と共に歩んで行けたらと・・・。

近藤 かつみ



## 初聖体おめでとう！ 6/23 (日)



\*上の左から小笹鈴さん、弓長らんさん、小笹花菜さん。

\*はじめて初聖体をいただいて不思議な気持ちでした。たくさんの人たちに祝福してもらって嬉しかったです。

私たちは毎週土曜日、シスターにイエス様について教えてもらいました。人数は少なかったけれど、とても楽しい勉強会でした。イエス様のお話を聞いてみんなで祈りをしたり、時間が余ったときは「かるた」や「パズル」で遊びました。

初聖体をいただくとき、たくさんの方がいてドキドキしました。でもちゃんとご聖体をいただけます。これからはしっかりとイエス様に感謝していきたいと思えます。

小笹 鈴

\*初聖体おめでとう！無事にこの日を迎えられる家族みんなで喜んでます。不安もありましたが、ご聖体のお恵みをいただいた子どもたちの姿をみて安心したのと、これからは一緒にご聖体をいただけるのだと思うと、とても嬉しい気持ちになりました。

子ども達は初聖体に向けて色々な話を聞き祈り勉強してきました。神様を身近に感じたのではないのでしょうか。私も洗礼を受けたばかりでまだまだ勉強中。子どもたちと一緒に信仰を深めていけたらと思っています。

**お知らせ**

これまで支えてくださった神父様、シスター、信者の皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。たくさんのご祝福をありがとうございました。神に感謝。

小笹 美夏

### 林尚志神父さまの叙階 50 周年記念 6/23 (日)



今年、5月で司祭叙階 50 周年を迎えられた林神父さま。おめでとうございます。幾多の<sup>かんなん</sup>艱難を潜り抜けてこられた神父さま。弱い者、貧しい、虐げられた人に心を寄せられる神父さま。私たちに教えられた、語られたことばに、重みを感じながら、「誰もマネができないなあ〜」と思いつつ、何故か惹きつけられていくのは何か？

これは、神父さまが解き放つ慈しみの心、愛からくるものだと・・・。

神父さまのお身体のご心配ですが、ダイヤモンド祝まで、ボチボチとゆっくり頑張ってくださいね。

祈りと感謝を込めて・・・。



\* 写真の左から— 弟様ご夫婦と姪御さん  
お祝いに駆けつけてくださいました。

### 柴田潔神父さま 中井淳神父さま 最終誓願式

日時◇ 7月31日 (水)

16:00~17:30

場所◇東京 イグナチオ教会

最終誓願を受けられる神父さま方  
のためにお祈りをお願いします。

**8月の予定**

\*8月 4日 (日) 7:00

墓地清掃と祈り：関山墓地

\*8月 4日 (日) 18:00

平和の祈りの集い：唐戸サビエル上陸  
記念碑前

(雨天時の場合は細江教会。荒天時は中止)

\*8月 5日~7日 STP (上智大学英語  
学科の学生グループによる英語教室)

\*8月10日 (土) 10:00

下関合同慰霊祭：長府教会  
— 帰天された方々のために祈ります

\*8月15日 (木) 11:00

聖母の被昇天ミサ

\*8月17日 (土) 10:30~15:00

通夜・葬儀研修会：山口天使 2F

\*8月24日 (土) 16:00 馬関祭：

唐戸市役所前愛の広場出店 下関協働体  
— 皆さまのご協力を一

**編集後記**

\*先日4日間、イエズス会神学生のドルウィンさん(インド南部出身 27歳)が我が家に滞在。

とても笑顔の素敵な若者で、久しぶりに楽しい日々を過ごしました。小さい頃から教会の神父になりたいと願っておられたそうです。司祭の道に進まれるドルウィンさんのためにお祈りください。(とても日本語が上手でした) 近藤

